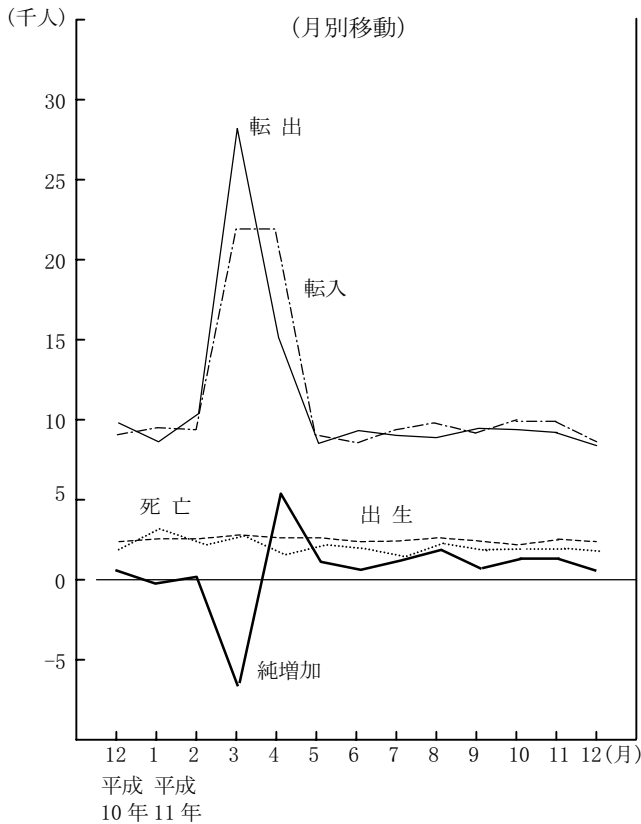


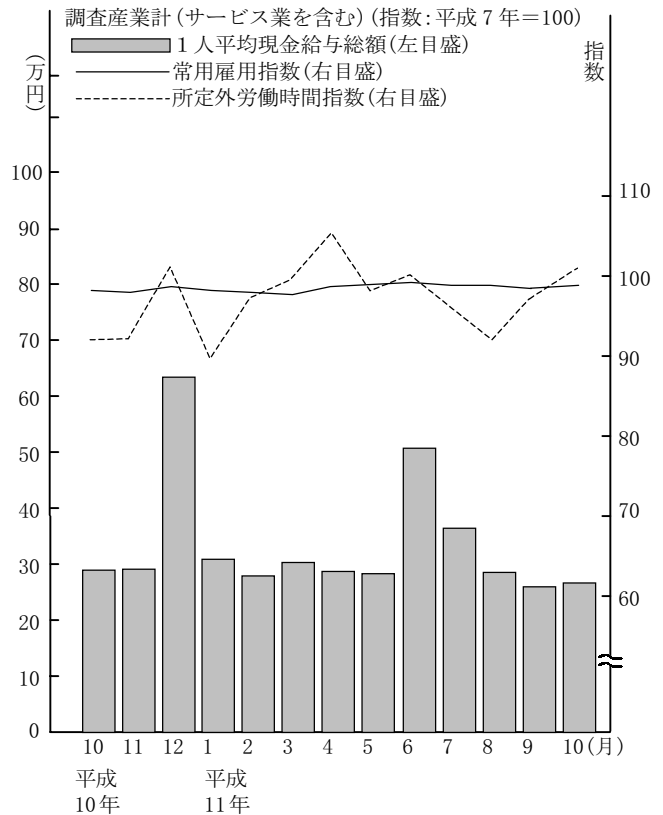
■今月の主な動き

今月の主な動き

人 口



賃金・労働時間・雇用



■人口 (12年1月1日)

12月の概況

本県の人口は、12月中に532人増加し、1月1日現在で**3,002,001人**(男1,498,234人,女1,503,767人)となった。

内訳は、自然動態で、435人(出生2,333人,死亡1,898人)増加し、社会動態で、97人(転入8,526人,転出8,429人)増加した。前年同月と比べると6,448人(0.2%)の増加である。

市町村別では、増加が13市33町村,減少が7市31町村,増減なしが1村である。

世帯数についても12月中に671世帯増加し、**989,681世帯**となった。

■賃金・労働時間・雇用 (11年10月)

1. 平均賃金の推移

10月の現金給与総額は、調査産業計で、**272,569円**、対前年同月比2.0%減であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は270,259円、対前年同月比0.5%減、特別に支払われた給与は、2,310円であった。

2. 労働時間

10月の総実労働時間は、調査産業計で、**155.7時間**、対前年同月比1.0%減であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は145.4時間、対前年同月比1.9%減であった。所定外労働時間は10.3時間、対前年同月比10.1%増であった。

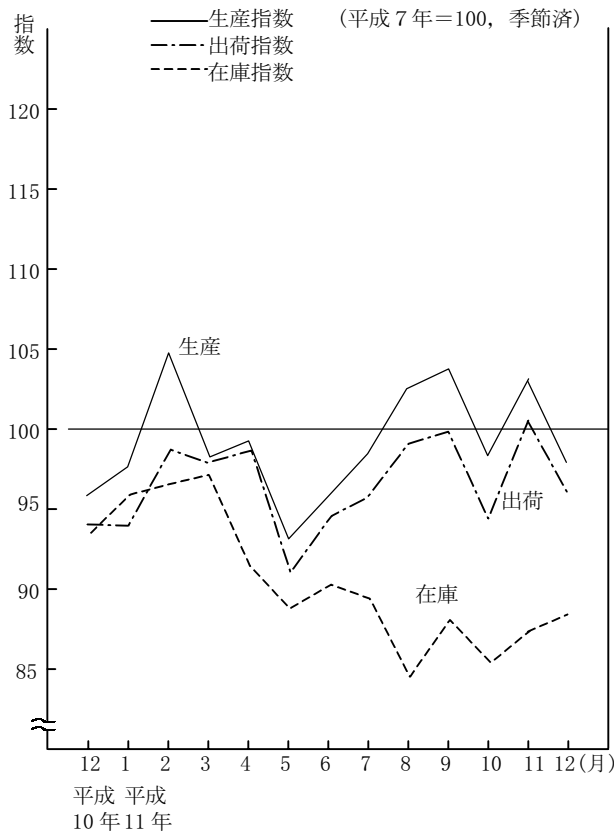
3. 雇用の動き

10月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.6%増であった。

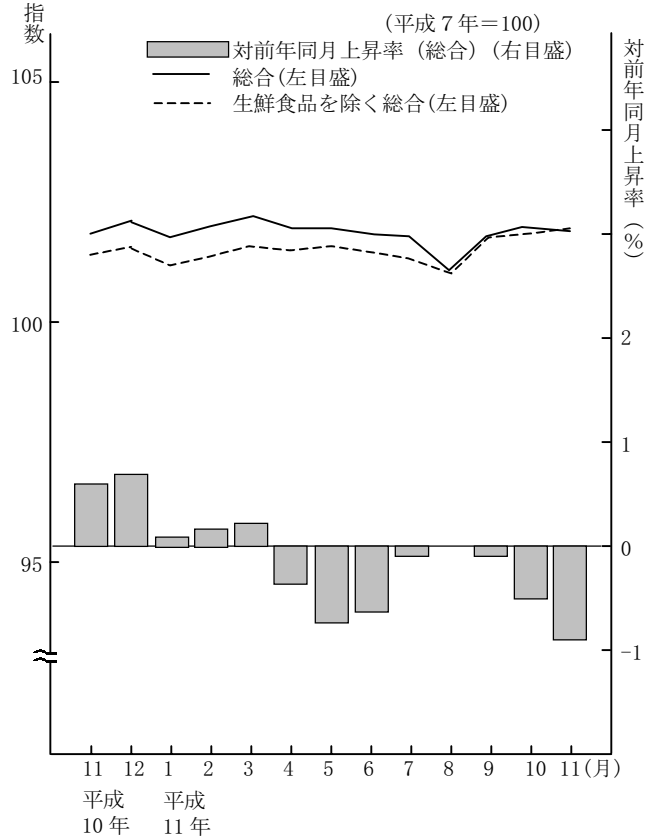
※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

■ 鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



■ 消費者物価指数



■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫>（11年12月）

本県における平成11年12月の“鉱工業指数”（平成7年=100）は、季節調整済指数で、生産が97.8，出荷が96.1，在庫が88.8であった。

- 生産の前月比は△5.1%の低下，前年同月比は3.3%の上昇であった。業種別に前月比をみると，精密機械工業，パルプ・紙・紙加工品工業，金属製品工業等が上昇し，一般機械工業，輸送機械工業，電気機械工業等が低下した。財別にみると，その他用生産財，鉱工業用生産財等が上昇し，耐久消費財，資本財等が低下した。
- 出荷の前月比は△4.3%の低下，前年同月比は3.6%の上昇であった。業種別に前月比をみると，精密機械工業，プラスチック製品工業，食料品・たばこ工業等が上昇し，一般機械工業，輸送機械工業，電気機械工業等が低下した。財別にみると，その他用生産財，非耐久消費財が上昇し，資本財，耐久消費財等が低下した。
- 在庫の前月比は1.6%の上昇，前年同月比は△3.1%の低下であった。業種別に前月比をみると，プラスチック製品工業，電気機械工業，化学工業等が上昇し，石油・石炭製品工業，繊維工業，その他工業等が低下した。財別にみると，建設財，鉱工業用生産財が上昇し，非耐久消費財，耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数（11年11月）

平成11年11月の茨城県消費者物価指数（県平均）は，総合で101.5（平成7年=100）となり，対前月比は（-）0.5%下落し，対前年同月比も（-）0.9%の下落となった。

- 今月の上がった主な項目・・・乳卵類 1.8%，
 今月の下がった主な項目・・・生鮮野菜（-）11.3%
 生鮮果物（-）14.8%
 生地・糸類（-）3.6%

生鮮食品を除く総合は101.8となり，対前月比，対前年同月比ともに増減なしであった。

■ 費目別指数

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.5	△0.5	△0.9	保健医療	111.3	0.2	△0.7
食料	101.5	△1.4	△2.5	交通通信	97.4	△0.1	△0.2
住居	101.8	0.0	0.2	教育	108.4	0.0	0.9
光熱・水道	101.2	△0.1	△0.7	教養娯楽	98.2	△0.4	△0.8
家具・家事用品	95.8	△0.4	△0.7	諸雑費	102.4	△0.2	1.6
被服及び履物	108.6	△0.1	△1.5	生鮮食品を除く総合	101.8	0.0	0.0